

広報



村章

なまきじん

1997 8 No. 261

毎月1日発行

●今帰仁村の人口

男4,851人(+5) 女4,795人(+5) 計9,646人(+10)

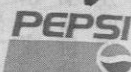
世帯数 3,257戸(+3)

平成9年6月末現在

今帰仁舞神



祝 落成・今帰仁村立村民体育館



村民体育館落成

二十一世紀に向けて盛大に祝う

スポーツ・レクリエーションの拠点、村民体育館の落成式が七月十三日、村民多数が出席して盛大に開催された。

式典で上間博安村長は「今後とも、村民の健康増進と体力の向上に大いに活用していくとともにスポーツの振興を図っていきたい」とあいさつを述べた。

その後、工事を請負った東開発・孝夫組他五社に感謝状が贈呈された。

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

みごと芥川賞に輝く

仲宗根出身の 目取真 俊さん



目取真 俊さん

第百十七回芥川賞の選考会が七月十七日、東京で開かれ仲宗根出身の目取真俊さん(本名・鳥袋正)の「水滴」がみごと芥川賞に輝いた。

受賞作のモチーフは、唯一直地上戦により多くの県民の尊い生命を失った沖繩戦であり、小さい頃両親や祖父母から沖繩戦の話をよく聞かされ、同世代の他の人よりも、深く体験できたことがこの作品を生み出す大きな要因となっている。

受賞作「水滴」は、右足が突然膨らみ、親指から水が噴き出すようになった男の物語。その水を、沖繩戦で壕(ごう)に取り残された負傷兵の亡霊たちが、夜ごと飲みに来る。その中に自分が置き去りにした学友の姿を見つけ、男の苦悩がはじまる設定。

この作品は、第二十七回九州芸術祭文学賞を受賞し、選評でも高い評価を得て、その

時から芥川賞を受賞するのではないかと期待されていた。評論家たちは「これまで沖繩からは三人の芥川賞作家が出ていたが、三人ともある日突然受賞したという印象が強い、今回の水滴のようにノミネットされた時点で芥川賞と結びつけて語られることはなかった」と話し、絶賛した。

また本人から受賞の第一報が実家に届くと集まった家族や近所の人達から、「よくやった。おめでとう。」の言葉が絶えまなく続いた。目取真さんのご両親は「息子が芥川賞を取ることは、信じられません。まるで夢のようです」と話し、喜びをかみしめていた。

上間博安村長は「こんな小さな村から日本を代表する芥川賞の受賞者が出たことは、村民の誇りであり、大いなる喜びです」と語り、快挙を称えた。

理解しようともせず一方的に「相手が悪い」と決め込んでしまったところに、解決を遅らせた大きな原因があったのです。自分達で解決できず、学級PTAまで開かせてしまったことを今はとても恥ずかしく思います。又、つい最近のことでも、私は自分の態度について後悔している事があります。それは、入学したばかりの男生徒全員が、上級生の何名



▲あいさつを述べる上間村長

沖繩県保母会北部支部(又吉智枝子支部長)の三十周年記念式典が六月二十一日、村コミュニティセンターで北部十市町村から保母二百人余りが参加して開催された。

保母会北部支部は昭和四十二年に沖繩県保母の会から分離、「常に子供の幸福な生活を願うと共に、保母の研究、研修を積み、会員相互の資質向上と親睦を図ること」を目的に活動を続け、当初十四人でスタートした会員も現在では、二百七十四人に達し保母会北部支部の充実発展ぶりを物語っている。

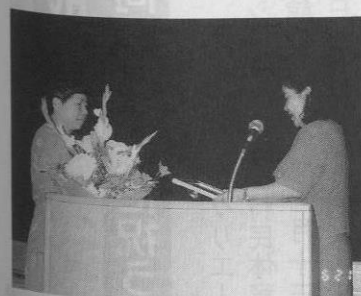
また今回三十周年記念式典

保母会北部支部

三十周年記念式典

が本村で開催されるにあたりあいさつに立った上間博安村長は「今後より一層充実した研修や新しい試みを実践され一段と強固な保母の会へと発展されることを祈念します」と話し、保母のみなさんを激励した。その後、二十一期から三十期までの北部支部長を務めた方々十人と、特別功勞者の表彰式が行われ、村内からは大城清美さん(今帰仁保育所)が表彰された。

さらに祝賀会では、各地域ごとの余興が準備され、かぎやで風・エイサー・うるわしの琉球などに会場は沸き、久しぶりに保母同志の交流を深めた。



▲清美さん、受賞おめでとう

青少年の主張大会



優秀賞

今、大切なもの

湧川中三年 山城知里

「思い込み」という心の状態が、いかに人の心を閉ざし物を見えなくしてしまうか、そのために、人間関係までが悪くなって、楽しいはずの毎日も味気なく、周りの人まで巻き込んで白けムードになってしまうか、ということに気がついたのは、二年の学年も終わりに近づいた頃でした。

幼稚園からずっと一緒にいる友達と、けんかをしてしまったのです。これまでは

ては相手の言うこと、やることに「超ムカツク」という最悪の状態にまで陥ってしまったのです。女生徒が六対二に完全に分かれてしまったために、男生徒も居心地が悪く、きつと面白くない日々を過ごしていたことでしょう。第三者から見ると、六人が二人をいじめてるように映っていたかもしれない。

れる程の冷たい態度で、弟に暴力をふるった相手に接するのが、私の精一杯の抗議でした。五名兄弟仲良く登校し、それぞれの教室へ別れる時、中一の弟がいつも気になりました。後ろ姿からも、不安と恐れを感じているらしい事が、私にはわかっていましたからです。

けんかをしてすぐ仲直りができたのですが、今回ばかりはそうはいきませんでした。原因が複雑にからみ、もつれ合ったために誤解が誤解を生んで、何と三、四カ月も冷戦状態が続いてしまったのです。

普通でないと判断なさったのかある日、仲介役として登場して下さいました。複雑にからみ合った原因や理由の一本一本の糸を、ほどこいてもらった結果、どの糸も、誤解というか、思い込みの黒糸からまって、真実を見えなくしていたのです。ほどこいてみると、たいしたことではありませんでした。お互いに相手の気持ちや考えを聞くこともせず、

かに、暴力をふるわれるという出来事が起きてしまった時の事です。この情報を耳にした時、押さえきれない程の怒りを覚えながら、私は何もすることができなかつたからです。

年生も不安や怖さにおびえる事もなかつたのにと考えると、自分自身が情けなく、惨めになってきました。私はこれまで、自分自身は正義感の強い人間だと思っていました。確かに今も、不正を認めたり、許したりすることはできません。しかし、どんなに強い正義感をもっていても、それを行動に移すことができないければ、それは、何

講演会(食中毒予防)についてのご案内

- 1. 日時 平成9年8月7日(木) 午後2時から
- 2. 場所 中央公民館講堂
- 3. 内容 食中毒予防について
名護保健所、生活環境課、主幹 宮城 一 氏

【ポスターの部】優良賞

氏名	学校名	学年
かよう しずか	湧川小学校	1年
こめす ゆうみ	今帰仁小学校	1年
仲宗根 勇生	古宇利小学校	2年
たなか みほ	今帰仁小学校	2年
金城 彩織	今帰仁小学校	3年
嶺井 亜由美	今帰仁小学校	3年
上間 広野	兼次小学校	4年
小波津 健	古宇利小学校	4年
高良 希矢	兼次小学校	5年
上間 利奈	今帰仁小学校	6年
我那覇 歩美	今帰仁小学校	6年
内間 千尋	兼次中学校	1年
島袋 睦美	兼次中学校	1年
小波津 睦	古宇利中学校	2年
喜屋武 智香	今帰仁中学校	2年
兼次 光則	古宇利中学校	3年
玉城 美和	古宇利中学校	3年

【標語の部】優良賞

氏名	学校名	学年
みやぎ あい	古宇利小学校	1年
たましろ みさと	湧川小学校	1年
与那 びびき	天底小学校	2年
外間 大地	天底小学校	2年
うんてん ありさ	天底小学校	2年
かよう たかや	天底小学校	3年
かよう りえ	湧川小学校	3年
山城 貴寛	今帰仁小学校	4年
山川 唯子	古宇利小学校	4年
喜屋武 咲達	兼次小学校	5年
西平 達也	天底小学校	5年
仲宗根 愛妙	兼次小学校	6年
座間 味	今帰仁小学校	6年
岸本 江利香	今帰仁中学校	1年
大城 玲香	今帰仁中学校	1年
平安 道晴	今帰仁中学校	2年
渡久山 綾乃	今帰仁中学校	2年
嘉陽 あゆみ	湧川中学校	3年
兼次 光則	古宇利中学校	3年

入賞者名

【作文の部】優秀賞

氏名	学校名	学年
町田 みゆ	今帰仁小学校	2年
平良 ひろき	今帰仁小学校	3年
仲尾次 新樹	今帰仁小学校	3年
玉城 大輔	兼次小学校	6年
仲松 なぎ子	湧川中学校	2年
島袋 明菜	今帰仁中学校	2年

【標語の部】優秀賞

氏名	学校名	学年
なかむら まみこ	今帰仁小学校	1年
町田 みゆ	今帰仁小学校	2年
具志 実樹	天底小学校	3年
照屋 志歩	天底小学校	4年
上間 夏希	今帰仁小学校	5年
金城 生	兼次小学校	6年
豊里 友作	今帰仁中学校	1年
内間 祐介	兼次中学校	2年
玉城 美和	古宇利中学校	3年

【ポスターの部】優秀賞

氏名	学校名	学年
よしだ こう	兼次小学校	1年
我那覇 菜津美	今帰仁小学校	2年
中村 百代	今帰仁小学校	3年
山内 里菜	兼次小学校	4年
照屋 由里子	今帰仁小学校	5年
津山 杏奈	今帰仁小学校	6年
島袋 一也	兼次中学校	1年
兼次 愛奈	兼次中学校	2年
嘉陽 あゆみ	湧川中学校	3年

【作文の部】優良賞

氏名	学校名	学年
みやざと なな	湧川小学校	2年
てるや たつし	今帰仁小学校	2年
比嘉 恵里加	古宇利小学校	4年
高橋 さやか	今帰仁小学校	6年
島袋 夏美	今帰仁小学校	6年
上間 樹里	兼次中学校	3年

学対シリーズ(36)

基礎学力の向上を図るため 第四回「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスター

コンクール

本読みは、すべての学習の基礎、基本をなすものである。「読める」ということが学習を進める上での大前提であり、学習課題、学習問題の意味をいかに速くとらえ、解決の糸口を見出すか、これらの基礎力が求められている。

村では学力向上対策への意識の高揚と実践活動の活性化を図ることを目的に、村教育委員会(大城藤夫教育長)主催による第四回「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクールが行われ、応募の中から厳正な審査の結果、優秀賞二十四点、優良賞四十三点が選ばれた。

その表彰式が六月二十五日、村コミュニティセンターで開かれ、係者二百人余りが出席して開かれ、大城藤夫教育長から入賞者一人ひとりに賞状が贈られた。

また、作文で優秀賞に輝いた、町田みゆさん(今帰仁小二年)、平良ひろき君(今帰仁小三年)、仲尾次新樹君(今帰仁小三年)、玉城大輔君(兼次小六年)、仲松なぎ子さん(今帰仁小三年)の六人が、島袋明菜さん(今帰仁小二年)の六人が作文を朗読すると、会場から惜しめない拍手が送られた。

なお、優秀賞に選ばれた作文・標語・ポスターは来月号から順次広報で紹介いたします。コンクールの入賞者は別表のとおり。

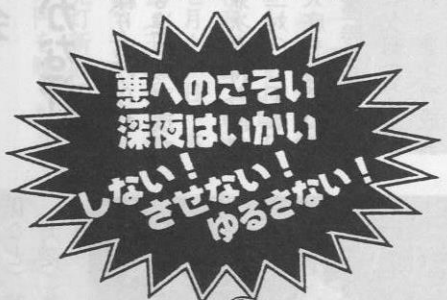


▲また来年もがんばってね!

青少年の深夜徘徊防止今帰仁大会 悪への誘惑、ゆるさん



▲村長、教育長先頭に出発



青少年の深夜徘徊防止今帰仁大会が七月十一日、村コミュニティセンター横西側駐車場で開かれ、大会には教育関係者をはじめ、村民多数が参加した。

大城藤夫教育長は「青少年自身の問題は自ら解決し、未来を切り開く強い精神力を培う事が重要である」とあいさつ、今後も全村民とともに青少年の非行防止に積極的に取り組むことを確認した。

続いて謝花伊久磨君(湧川中三年)と三浦由香さん(北山高三年)が決意表明を行い謝花君は「子どもの模範となるべき大人が、青少年を誘拐したり、覚せい剤を売ったり今の社会は乱れている。大人

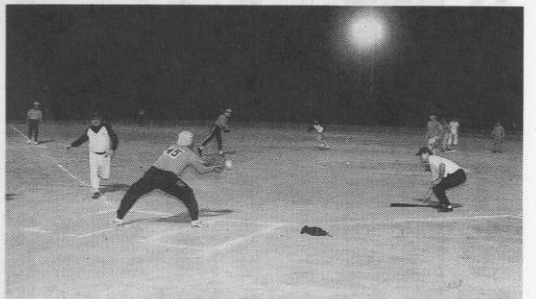
はもっとしっかりとっかりしてほしい」と述べ、三浦さんは「オートバイによる高校生の事故の多発は沖縄の夜型社会における青少年の深夜徘徊がいかに原因であり、これをなくすることが重要」と決意を語った。

大会終了後、上間博安村長らの持つ横断幕を先頭に、各団体がプラカードを掲げ、村コミュニティセンターから慶山スーパードまで街頭パレードを行い、深夜徘徊防止を訴えた。

また、平成九年度沖縄県警主催の深夜徘徊防止防犯標語の部で、今帰仁中学三年鈴木春菜さんが「今何時?お父さんお母さん待ってるよ」の題で三位入賞を果たした。

第8回

＝ 壮年ソフトボール大会 ＝
仲宗根A大逆転で
三度目のV



▲ボールの方が速いか！

愛好者の育成と相互の親睦を図りスポーツに親しみ楽しむことを目的に、第八回壮年ソフトボール大会が六月二十二日、二十四日、七月一日の三日間、村運動公園サブグラウンドと村営グラウンドで、村内十九字から二十二チーム（今泊、与那嶺、仲宗根各二チーム）が参加して開催された。大会では四十歳以上とは思えない軽快なフットワークで珍プレー、好プレーを演じる選手達に会場の応援団から盛んな声援が送られた。

決勝戦は二日目、ナイターで仲宗根A対今泊AのAA対決となったが、折からの台風接近のため試合は中断、三日目七対六で仲宗根リードの二

仲宗根	6	1	5	0	10
今泊	3	9	3	0	0
					15
					22

- 各賞は次のとおりです。
- 殊勲賞―伊野波盛明（仲）
- 敢闘賞―新城 満（今）
- 打撃賞

- 一位―小波津 和雄（仲）
- 二位―伊野波 盛明（仲）
- 三位―新城 元（今）



▲迫力ある、スパイクとブロック

第22回
村PTAバレーボール大会
好ゲームで実力伯仲

今帰仁村子ども会育成連絡協議会（喜屋武治樹会長）主催による第四回村子ども会綱引き大会が七月六日、オーブメントしたばかりの村民体育館でPTAや関係者多数が参加して行われた。大会にはこれまでの最多である男子二十チーム、女子十九チームが出場、各チームとも力自慢の子ども達を揃え、優勝をめざしてパワー全開―競技が開始されると各チーム

村PTA連絡協議会（川上勉会長）主催による第二十二回村PTAバレーボール大会が六月二十九日、今帰仁中学校体育館で開催された。これは村内のPTA相互の交流を図り、親睦と理解を深め各単Pでの活動を高めようとの趣旨で毎年行われ、今年も大会には村内各学校区より男女それぞれ八チームが参加、当日はうだるような暑さの中、各チームの熱気はムン



▲チームワークで、いぞ勝負

第四回村子ども会綱引き大会
真新しい体育館でさわやかな汗

営（司会、組合せ準備、世話係など）競技を盛り上げた。大変ご苦労様でした。

今帰仁中吹奏楽部へ楽器一式を寄贈

五十周年事業期成会



に必要なものを揃えて、勉強しやすい環境を作った。生徒達を激励した。吹奏楽部を代表して部長の仲里明菜さんは「私達が待ち望んでいた楽器が届いて、部員一同喜びに堪えません。ほんとうにありがとうございます。お礼の言葉を述べ、今後予定されている吹奏コンクールや運動会に胸を弾ませた。

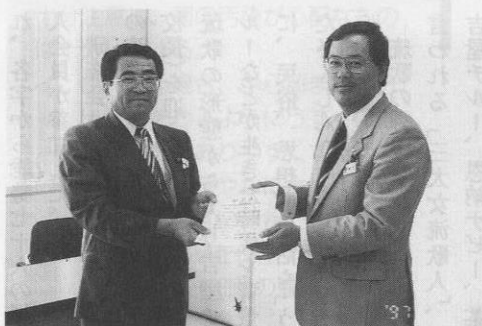
また、前川校長も期成会の心温まるご芳情に対して深く感謝の意を表わした。

今帰仁中学校（前川亘校長）では、吹奏楽部で使用している楽器の老朽化にともない、五十周年事業期成会（宮城康吉会長）のご好意により吹奏楽器一式（三百万円相当）が寄贈され、その贈呈式が七月十四日、今中体育館で、先生・生徒・関係者多数が出席して盛大に行われた。贈呈式で宮城会長は「楽器を寄贈して子ども達に喜んでもらえてよかった。この機会

ライトアップに
11万円寄付
村商工会

村子ども会へ
「キャンプ用テント、用具一式」
を寄贈
日本生命財団

「いまじん太鼓」アメリカ
派遣チャリティー
闘牛大会
133万円を贈る



「明るい街づくりをお願いします」と、村商工会（運天政徹会長）は七月十一日、本部地区防犯協会（玉城千喜会長）が進めている「ライトアップ作戦」に防犯灯新設のための寄付金十一万円を贈った。



▲チャリティー成功を祝う

日本生命財団（小林幹司理事長）は七月七日、「児童・少年の健全な育成に役立てて下さい」と、キャンプ用テント・用具一式（五十万円相当）を村子ども会育成連絡協議会（喜屋武治樹会長）に寄贈した。喜屋武会長は「子ども会活動も年々充実強化されており、これまで以上に各字のさまざまな子ども会活動に活用していきたい」と満足げに話した。



▲犯罪防止に役立てて下さい。

「マンゴーゆうパック」出発式

果物の王様「完熟マンゴー」全国へ

完熟マンゴーの甘い香りをのせて全国へをキャッチアップレーズに、今帰仁郵便局（親川恵一局長）のふれあい直送便「マンゴーゆうパック」出発式が七月十一日、関係者が出席して行われた。

出発式で親川局長は「今年で六年目を向かえるマンゴーゆうパックの利用個数も毎年着実に増え、今年は四千個を目標に取り組んでいきたい」とあいさつ。村を代表して上



▲マンゴーを積み込む、生産農家

間博安村長は「生産農家が今後ますます研鑽を積み、ゆうパック事業がさらに強化されることを期待します」と話し、生産農家を激励した。また生産農家を代表して宮城康吉さんは「スイカに続きマンゴーは今帰仁と言われるようにブランド化し、消費者に喜ばれるマンゴーを届けた」と述べ、今後とも品質の向上と生産拡大に意欲を燃やしていた。ふれあい直送便は

村婦人リーダー研修会

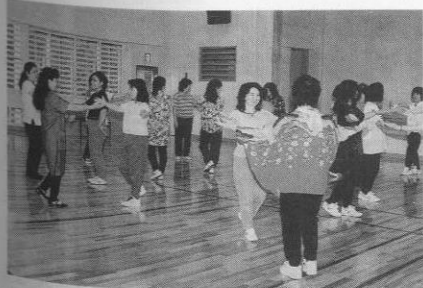
会員の親睦と研鑽を積む

村婦人会（山内晴子会長）の平成九年度婦人リーダー研修会が七月七日、午前十時から午後四時半までいこいの村おきなわ（多野岳）で開催され、各字から総勢七十人の婦人会員が参加した。

研修会は、「琉歌こぼれ話」の演題で上間久武氏（兼次小学校長）を迎えて講演が行われ、琉歌の形態から入り吉屋チルーなどが生きた時代を背景に、民俗、思想、生活を「うたさんしん」を織り込みながらの楽しい講演であった。

琉歌の秀峰を作り上げたと言われる「三大女流歌人」、吉屋チルー、恩納ナビ、茶谷モーシーが詠んだ歌に、女性の強さや優しさが伝わり、解放的でダイナミックな中にも社会的意識の高さが伺えて心うたれた。遙か古えに生きた女性を生き生きと現代に魅えらせて、感動と笑いの世界に聴衆を引き込んだ。

講演が終わっても席を立とうとしない多くの姿を見て、講師の「心から心」が伝わったように思えた。話す側と聞



▲すべてを忘れて、リフレッシュ

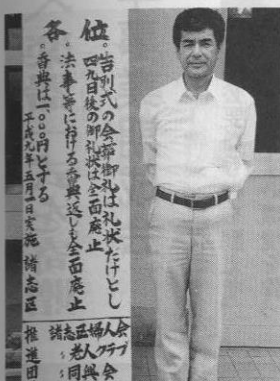
く側との間には「響き合う心」も自然に生まれてくるのである。お母さん方の顔が一段と輝いて見えた。その後、小波津和雄県派遣社会教育主事によるレク研修が行われ各自が卓球・カラオケ・ゴルフ・ダンスなど好みの種目を選択心地よい汗を流し、婦人会員の親睦を深めた。

字諸志（内間利三区長）では、生活改善の一環として、葬儀に関する行政内規（一）、香典料は千円とする。二、香典返しは一切廃止する。三、四十九日のお礼状廃止」を字常会で制定し、平成三年度から実施している。

そこでこれまでの状況を踏まえ、字外の参列者にも改善運動の趣旨を理解していただき、平成九年五月一日より一斉にこの運動に協力してもら

内間区長は「この運動をとおして、区民がお互いの立場を理解し、少しでも経費削減につながる」とも、今後は諸志以外の各字でもこのような生活改善運動が展開されることを期待しています」と話しこれから引き続き推進していく決意を語った。

しかしながら字外の参列者に対しては、これまでどおり香典返しが行われ、徹底した改善運動を図ることができない現状にあった。



位 皆別式の会葬等は礼状発行なし、四十九日のお礼状は全面廃止、法事等に付する香典返しも全面廃止、香典は「0」円とする、諸志区長 内間利三、推進団長 諸志区長 内間利三

保健婦だより

病原性大腸菌O-157の予防

O-157の正体

健康な人の腸の中にも存在するといわれる大腸菌、しかし、いま発生しているO-157は、その大腸菌の中でも大変危険なものといわれています。別名、腸管出血性大腸菌、あるいはベロ毒素産生性大腸菌ともいわれるように、O-157の菌が腸内に入り込むと腸内に強い毒素を生み出し、腸管内の血管の細胞や腎臓の細胞を破壊してしまい、これらの臓器の機能を低下させたり、ときには脳細胞をもおかして、死にいたらしめることもあります。

このような強い毒素を持つ大腸菌O-157は、赤痢と同じくらいかそれ以上の毒素を持っているといわれるくらい危険な病原性大腸菌なのです。

病原性大腸菌O-157は、一九八二年にアメリカで発生した集団食中毒により発見されました。その食中毒が、いま、日本各地において集団発生しています。予防のためにもこの食中毒を起すO-157の正体を知り、正しい予防法を身につけて、この食中毒にかからないようにしましょう。

どうすれば「予防」できるのか

O-157は、人の口から感染します。（経口感染）。また感染力が強いので、家庭内の二次感染の予防にも十分注意する必要があります。しかし、こんなに強い菌にも弱みがあります。それは、いずれの食中毒と同じように熱に弱いことです。この菌は、0℃以下になっても死なず、25℃になると増殖し、わたしたちの体温（37℃）になると、その勢いは、20分で倍になるといわれていますが、75℃以上の熱を一分間加えると死滅します。また、いずれの消毒剤でも死滅しますのでこの二点をポイントに、次のようなことを心がけましょう。

1

食品の保存、運搬、調理は衛生的に十分注意し、菌の汚染が心配なものは十分加熱する。
イ. 加熱する場合、中心部まで十分に熱が加わるようにうすくのはし、火がとおりにやすくする。
ロ. 保存食品は速やかに食べ、残っても保存しないで捨てる。
ハ. 調理した食品を保存する場合、低温で保存し、細菌の増殖を防ぐ。

3

飲料水の衛生管理に注意する。とくに、井戸水、受水槽の利用は気をつける。

健康に不安がある場合の相談は

感染のおそれや健康に不安がある場合には、お近くの保健所へ相談しましょう。

菌に感染すると、次のような症状がみられます。

1. からだがダルイなど かぜの症状がみられる	2. そのうち、腹痛を伴う 粘液性の少ない水様性の下痢を起こす
3. 発熱を伴う	4. 下痢の回数が増えて、 1～2日くらいには、ほとんど水様性の鮮血性下痢となる

どんな症状か

食品のとりあつかいは、手や調理器具を流水で十分流す。生肉が触れたまな板、包丁、食器類は、熱湯などで十分消毒し、手も洗うこと。消毒をしないまな板は、他の調理には使わない。

2

症状があらわれたら

万が一、O-157によると思われる症状があらわれたら、次のことを心がけましょう。
①すぐに医師に診てもらい、その治療にたがう。とくに乳幼児の病状に注意してください。
②自己診断で下痢止めなどくすりの使用をしないようにしましょう。菌が体内にとどまってしまうおそれもあります。



8月/葉月

1997年



10日	
11月	○ディサービス (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン) ○麻しん予防接種
12火	○一才半、三才児健診 ○老人ゲートボール大会
13水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)
14木	
15金	
16土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○牛セリ (セリ市場)
17日	
18月	
19火	
20水	○区長会 (14:00~ 2階会議室) ○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)
21木	
22金	
23土	○村まつり (村総合運動公園ほか) 14:00~
24日	○村まつり (村総合運動公園ほか)
25月	○住民検診 (今泊)

26火	○住民検診 (兼次、諸志) ○一般水泳教室 29日まで プール
27水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン) ○住民検診 (仲尾次、与那嶺)
28木	○住民検診 (平敷、崎山) ○ディケア
29金	○住民検診 (謝名、越地) ○一般水泳教室 8月1日まで プール
30土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
31日	○郡サッカー大会

9月

1月	○住民検診 (呉我山、玉城)
2火	○住民検診 (湧川)
3水	○心配ごと相談 (13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン) ○住民検診 (勢理客、天底)
4木	
5金	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
7日	○郡球格技大会
8月	○住民検診 (上運天、運天)
9火	○住民検診 (仲宗根)

広報を担当してから早くも四カ月が過ぎようとしてい。毎日が悪戦苦闘の連続、メ切りが近づくにつれ全身の血が騒ぎ、しばし文学少年に変身、家では母子家庭の日々が続く、しかし毎月広報を楽しみに待っている人達のことを考えると石にかじり付いてでも頑張りたいものだ。

七月十七日、この日は芥川賞にノミネートされている目取真俊さんの選考会の日である。村出身者の偉大なる快拳を誰しもが待ち望んでいた。夕方、受賞の一報が私の耳にとび込んできた。日本文学界の最高峰をさわめた芥川賞の受賞である。ほんとうにおめでとう！今回の受賞が村民をはじめ子ども達に与えた影響は計り知れない、今後ともさらなる活躍を期待したい。

